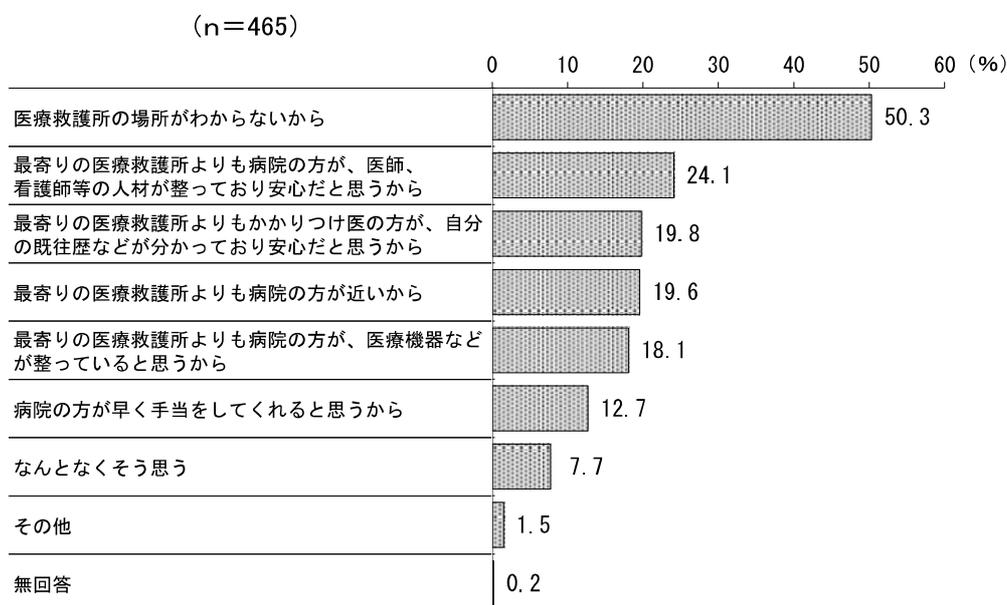


(4-1) 最寄りの病院で手当をしてもらう理由

《問15で「2 最寄りの病院で手当をしてもらう」とお答えの方へ》

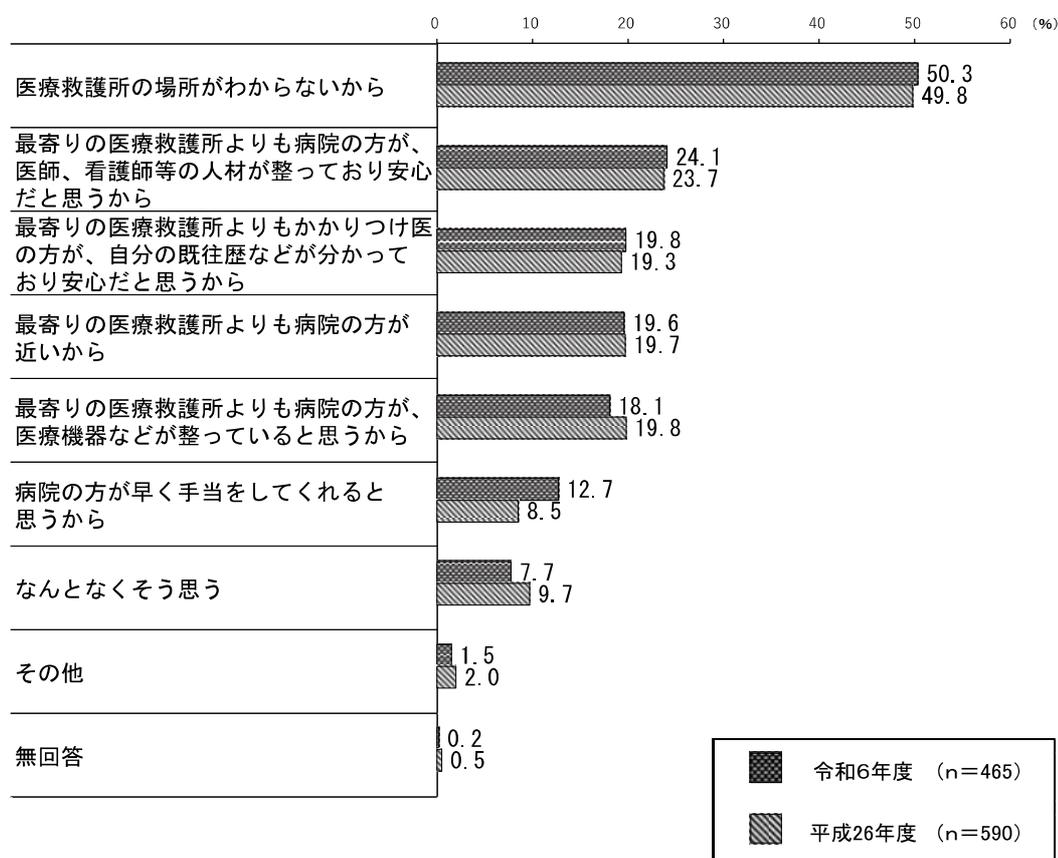
問15-1 それはなぜですか。(○は2つまで)



大規模な災害が発生し、あなたまたは他の方が擦り傷や骨折などの怪我を負った場合、最寄りの病院で手当をしてもらうと答えた方に理由をたずねたところ、「医療救護所の場所がわからないから」は約5割で最も高くなっている。次いで、「最寄りの医療救護所よりも病院の方が、医師、看護師等の人材が整っており安心だと思うから」(24.1%)、「最寄りの医療救護所よりもかかりつけ医の方が、自分の既往歴などが分かっており安心だと思うから」(19.8%)、「最寄りの医療救護所よりも病院の方が近いから」(19.6%)、「最寄りの医療救護所よりも病院の方が、医療機器などが整っていると思うから」(18.1%)、「病院の方が早く手当をしてくれると思うから」(12.7%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、「病院の方が早く手当をしてくれると思うから」は平成26年度より4.2ポイント増加している。



<性別・性／年齢別・区別結果>

性別でみると「最寄りの医療救護所よりもかかりつけ医の方が、自分の既往歴などが分かっているから」は女性が男性より6.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると「医療救護所の場所がわからないから」は男性30～39歳が最も高く、7割となっている。「最寄りの医療救護所よりも病院の方が、医師、看護師等の人材が整っており安心だと思うから」は女性70歳以上で、約4割となっている。

区別でみると「最寄りの医療救護所よりも病院の方が、医療機器などが整っていると思うから」は南区で2割を超え高くなっている。

